

鳥取 会 報

第 17 号

2007年 8月



鳥取しゃんしゃん祭

(写真提供：鳥取市)

目次	就任の御挨拶	2~3	趣味のひとつ	18
	平成19年度第1回通常総会	4	記念事業	19
	平成19年度事業基本計画	5~6	シルバー人材センター紹介	20
	平成19年度事業実施状況	7~9	会員の広場	21~22
	平成18年度下期事業実施状況	10~13	講習会に参加して	22~24
	シニアワークプログラム実施計画	14~15	表紙のことば	25
	健康シリーズ	16~17	あとがき	26

社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

新任御挨拶



鳥取労働局長

藤森 和幸

本年四月一日付で鳥取労働局長として赴任してきました藤森です。

私は以前にも二年間、鳥取勤務を経験しておりまして、今回の赴任には「ただいま、帰りました」という懐かしさを感じております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

高齢者の就業対策の推進につきましては、日頃よりシルバー人材センター連合会、各センター及び会員の皆様にご協力とご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、我が国は平均寿命の大幅な伸びと出生率の低下により世界に類を見ない早さで、少子・高齢化が進んでおります。

特に本県は全国に先駆けて高齢化が進んでおり、高齢者の方々が長年培ってきた知識や経験を活かして社会の担い手として活躍していただくことが大きく期待されているところです。

こうした中、シルバー人材センター事業は、定年退職後等に、臨時

的かつ短期的又は軽易な就業を希望する高齢者の方々に対して、地域の日常生活に密着した仕事を提供し就業機会の増大を図り、活力ある地域社会づくりに貢献することを目指しております。

ところで、景気は全国的には回復傾向が認められるとの見方をされておりますが、残念ながら本県においてはそのことを実感することが出来ず、雇用情勢は依然として厳しく、特に高齢者にとっては一度離職すると再就職は極めて難しい状況にあります。

このような状況の中で、県下のシルバー人材センター事業が確実に進展していることは皆様の日頃からの熱意とご努力の賜と、あらためて敬意を表する次第です。

鳥取労働局といたしましても高齢先行県である本県におけるシルバー人材センター事業の重要性を十分認識し、県・市町村との連携のもとに、地域に密着した事業運営体制を確立することにより、シルバー人材センター事業を引き続き積極的に推進する所存ですので、今後とも一層のご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。

最後に、シルバー人材センター事業の益々のご発展と会員皆様のご活躍を祈念しご挨拶と致します。

就任のごあいさつ



鳥取県商工労働部長

門前 浩司

平成十九年七月五日付けで商工労働部長に就任いたしました。会員の皆様におかれましては、日ごろからシルバー人材センターの各種事業を通じて、本県の高齢者の方々の生きがいづくりなどに御尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、今年からいよいよ団塊の世代が六十歳に達し始め、熟練した技能、知識及び経験を有する多くの方々が退職されます。さらに、全国的には経済情勢が回復する中、本県の雇用情勢は依然低迷しており、若年者が景気の良い県外に仕事を求めて流出する傾向もみられます。

本県におきましても若年労働力不足や若者の「ものづくり離れ」による後継者不足など、取り組むべき課題が山積しており、県としましても、「求人開拓員」を新たに設置するなど、求人環境の改善等に積極的に取り組み始めたところです。

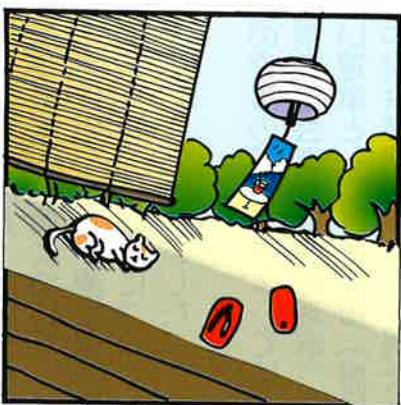
このような時こそ、高齢者の方々が生涯にわたって生きがいを持つ

て活躍し続けることのできる環境のもと、豊かな知識、技術、経験を生かし、地域社会の支え手として活躍していただくことが期待されており、シルバー人材センターの果たす役割は今まで以上に重要となつてきます。

一方、市町村合併で各センターが広域化したこと等による会員確保への影響や、長引く景気の低迷による就労先の減少など、シルバー人材センターを取り巻く環境も厳しさを増しております。

県としましても、高齢者の雇用の促進や生きがいづくりをはじめ、各種労働施策に鋭意取り組んでまいりたいと考えておりますので、会員の皆様方の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴連合会及び会員の皆様方の御発展と御活躍を祈念申し上げ、御挨拶とさせていただきます。



平成十九年度第一回通常総会開催



平成十九年度第一回通常総会は六月八日(金) 米子市において会員の代表及び来賓のご出席を賜り開催されました。

宇野連合会会長の挨拶にはじまり、来賓の代表として鳥取労働局 能見職業対策課長から祝辞をいただきました。

議長に田子南部広域シルバー人材センター理事長が選出され議事が進められました。

議案

第一号議案 社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会定款の一部変更について
 第二号議案 社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会平成十八年度事業報告及び収支決算報告について
 第三号議案 社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会平成十九年度収支補正予算書について

第四号議案 鳥取県シルバー連合労働者派遣事業実施準備室の設置について
 第五号議案 鳥取県シルバー連合保険制度検討委員会(仮称)の設置について
 が満場一致で承認・決定されました。
 第六号議案の役員の見任につきましては、水根理事(鳥取県商工会連合会専務理事)の退任に伴い新しい理事として有田勝徳(鳥取県中小企業団体中央会専務理事)氏が選任されました。

◎第五期役員名簿

役職	氏名	所 属
会 長	宇野 治 巳	(社)米子広域シルバー人材センター 理事長
副会長	木島 敏 行	(社)鳥取市シルバー人材センター 理事長
副会長	野 島 完	(社)倉吉市シルバー人材センター 理事長
常務理事	仲村 一 男	(社)鳥取県シルバー人材センター連合会 事務局 長
理 事	足 立 郁 馬	(社)境港市シルバー人材センター 理 事 長
理 事	田 子 貢	(社)南部広域シルバー人材センター 理 事 長
理 事	石 谷 文 一	(社)智頭町シルバー人材センター 理 事 長
理 事	足 立 慎 夫	(社)琴浦町シルバー人材センター 理 事 長
理 事	村 田 敏 雄	八頭町シルバー人材センター 理 事 長
理 事	有 田 勝 徳	鳥取県中小企業団体中央会 専務理事
監 事	谷 口 幹 彦	(社)岩美町シルバー人材センター 理 事 長
監 事	林 原 彦 一	(社)大山町シルバー人材センター 理 事 長

平成十九年度 事業計画書

基本計画

急速な少子高齢化社会が進み、年々、総人口に占める高齢者の割合が増加してきているなかで、経済社会の活力を維持・発展させていくためには、高齢者が長年にわたり培ってきた豊かな知識と経験及び技能を積極的に生かし、働くことを通じて健康で生き甲斐をもつて社会活動に参加し、活力のある社会の実現を目指すことが重要な課題である。

本年からはいよいよ団塊の世代が定年を迎えるにあたり、高齢者の働き方は雇用・就業からボランティア活動など多様化しており、元気な高齢者が活躍できる社会をつくるためには、シルバー人材センターの役割は益々重要であるが、これから団塊の世代を会員として迎えるにあたって、さらなる就業分野の拡大を図る必要性が生じてくることである。

現在、シルバー事業を取り巻く環境は、補助金削減、行政改革、指定管理者制度の導入等で厳しい状況にあるが、特に小規模センターにおいては厳しさが顕著となってきたこと、何らかの対応が求められるところである。全体的に中・長期的な財政見通しの策定と、これに対応した自立的な運営基盤の強化が必要であり、会員の自主的な就業機会の確保、シ

ニアワークプログラム事業の活用による就業分野の拡大及び就業適応を図っていく必要がある。また、団塊の世代の受け入れに当たっては、シルバー労働者派遣事業実施の進展を図り、新しい就業分野の確保等シルバー事業の活性化と併せてシルバー会員の増強を図りたい。

また、従来から会員であり就業だけにとらわれない後期高齢者を中心として、ボランティア活動やサークル活動等の社会参加活動を行うことにより、地域におけるシルバー事業の理解と信頼を深めることも大切である。

以上のことをふまえ、鳥取県シルバー連合はシルバー事業発展に向かい、本年度は次の事業に取り組み。

事業実施計画

一 安全・適正就業推進事業

シルバー事業の基本である安全・適正就業を推進するため次の事業を実施する。

- (一) 安全・適正就業推進委員会の開催
- (二) 鳥取県シルバー連合保険制度検討委員会（仮称）の設置
- (三) 安全パトロール担当者会議の実施
- (四) 安全就業研修会の開催
- (五) 安全パトロール指導員による巡回指導

二 普及啓発事業

- (一) 連合会機関誌の発行（年二回）
- (二) シルバー事業普及啓発促進月間（一〇

月）の行事

- (三) シルバー祭り開催
- (四) ポスター、各種普及啓発用リーフレットの作成・配布
- (五) ホームページの充実

三 就業開拓事業

- (一) 就業機会開発推進委員会の開催
- (二) 就業開拓推進委員の配置
- (三) ホワイトカラー就業機会開発員の配置

四 交流研修事業

- (一) 鳥取県シルバー経験交流大会
- (二) 連合役員研修

五 無料職業紹介事業

- (一) シルバー派遣事業導入への予備的検討
- (二) シルバー派遣事業導入検討委員会の設置

六 シルバー労働者派遣事業導入に係る体制整備

- (一) 理事会でのシルバー派遣事業の方針検討・決定
- (二) シルバー派遣事業実施準備室の設置
- (三) シルバー派遣事業導入の決定

七 福祉・家事援助サービス

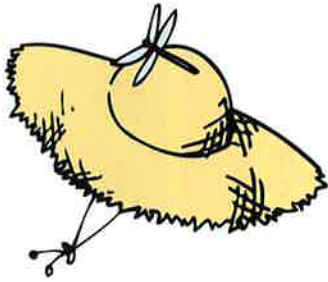
- (一) 研修会の開催
- (二) 普及啓発

八 指導相談事業

- (一) 鳥取県シルバー人材センター事業推進連絡会議の開催

九 高齢者活用生活援助サービス事業

- (一) 実施センター



- (社)鳥取市シルバー人材センター
- (社)米子広域シルバー人材センター
- (社)倉吉市シルバー人材センター
- 十一 高齢者活用子育て支援事業
実施センター
- (社)鳥取市シルバー人材センター
- (社)米子広域シルバー人材センター
- (社)倉吉市シルバー人材センター
- 十二 地域高齢者社会参加促進事業(社会参加型)・・・実施予定
- 十三 シニアワークショッププログラム地域事業
 - (一) 啓発事業
 - (二) 総合的雇用就業情報提供事業
 - (三) 技能講習事業
 - ① 長期講習・十五会場実施(別表)
 - ② 短期講習・二十八会場実施(別表)
 - ③ 職場体験講習事業
 - ④ 職業紹介事業
- 十四 諸会議の開催
総会・理事会・事務局長会議及び関係行政機関等との連絡会議を実施。

別表(平成十九年度シニアワークショッププログラム地域事業実施計画)

◎長期講習名		開催場所
経理事務補助講習	鳥取市(二回)・米子市(二回)・倉吉市・境港市	
造園アシスタント講習	鳥取市(二回)・米子市	
左官・ブロック積補助講習	鳥取市	
オフィスクリーニング補助講習	米子市	
訪問介護員養成研修二級講習	鳥取市・米子市・倉吉市・境港市	
◎短期講習名		開催場所
警備業務補助講習	鳥取市・米子広域	
緑地管理アシスタント講習	米子広域・倉吉市・境港市・岩美町	
造園アシスタント講習	米子広域・倉吉市・境港市・南部広域・智頭町・江府町	
室内装飾アシスタント講習	鳥取市・米子広域・倉吉市・境港市・南部広域・智頭町・北栄町・八頭町	
農業支援講習	南部広域・智頭町	
果樹栽培アシスタント講習	倉吉市・南部広域	
塗装アシスタント講習	倉吉市	
事務補助講習	南部広域・智頭町・岩美町	
販売員養成講習	米子広域	
保育支援講習	鳥取市・米子広域・倉吉市・境港市	
介護支援講習	鳥取市・米子広域・倉吉市	

平成十九年度 事業実施状況

第一回通常理事会

五月二十九日(水) 米子市において開催。



議案
第一号議案 (社)鳥取県シルバー人材セン

ター連合会定款の一部変更(案)についで

第二号議案 (社)鳥取県シルバー人材センター連合会平成十八年度事業報告(案)について(監査報告)

第三号議案 (社)鳥取県シルバー人材センター連合会平成十九年度収支補正予算書(案)について

第四号議案 鳥取県シルバー連合労働者派遣事業実施準備室(仮称)の設置についで

第五号議案 鳥取県シルバー連合保険制度検討委員会(仮称)の設置についで

第六号議案 役員改選について(役員候補者選考委員の選出についで)

議案は、いずれも原案どおり承認されました。

理事長・事務局長 会同 会議

六月二十一日(木) 倉吉市において開催。

議題

(一) 平成十九年度第一回都道府県連合事務局長会議の報告

(二) 鳥取県シルバー人材センター事業活性化計画の策定についで

(三) 鳥取労働局高齢者対策担当官説明

(四) その他

第一回シルバー派遣 事業実施準備委員会

六月二十九日(金) 倉吉市で開催。

議題

(一) 連合及び活動拠点のシルバー派遣事業実施の採択についで

(二) 連合及び活動拠点の体制整備(派遣元責任者・事務所長の任命等)についで

(三) 労働者派遣法第七条第一項第四号の要件(財産的基礎及び事務所に関する判断)についで

(四) 派遣事業に係る会計区分及び会計業務分担についで

(五) 派遣事業に係る事業計画及び収支予算の立案についで

(六) 各種規程の制定についで

(七) その他

安全適正就業推進委員会

七月六日(金) 倉吉市で開催。

議題

(一) 平成十九年度安全・適正就業推進事業実施計画についで

(二) 平成十八年度事故発生状況についで

(三) 平成十八年度各センターの安全・適正就業への取組み実施についで

(四) 平成十八年度安全・適正就業パトロール及び講習会実施状況についで

(五) その他

就業機会開発推進委員会

七月十三日（金）倉吉市で実施。

議題

- (一) 平成十九年度就業機会開発推進事業実施計画について
- (二) 平成十八年度各センター就業機会開拓実施状況について
- (三) シルバー事業活性化計画について
- (四) その他

平成十九年度 安全・適正就業研修会

安全・適正就業強化月間の一環として平成十九年七月二十七日（金）倉吉市において、各シルバー人材センターの役員・会員等七十七名の参加のもと、平成十九年度安全・適正就業研修会を開催しました。

宇野連合会会長の挨拶に続き、会員及び役員から募集した「シルバー人材センター事業安全就業標語の入選者の発表及び表彰式が行われました。

基調講演は、至る六月の全シ協定期総会において安全就業優良シルバーとして表彰された、(社)出雲市シルバー人材センター事務局長 原 文男氏による「安全・適正就業対策の現状と課題について」と題した講演があり、



(社)鳥取市シルバー人材センター安全就業部会担当 山本光美氏の「当センターにおける安全就業の取り組みについて」の事例発表、健康運動指導士・日本ウォーキング協会認定指導官 藤本晶子氏による「生き生きといつまでも暮らせるために」の講演のあと意見交換を行いました。

参加されました皆さんが、「安全に仕事を



するための、就業中及び就業途中の事故防止、健康であるためにはどうすべきか等々真剣に考え、学ぶ有意義な研修会となりました。

安全就業標語の表彰作品

「優秀作品」

気を抜くな 気力 体力 日々変わる

松下朝男

(社)米子広域シルバー人材センター

「入選作品」

あなどるな 慣れと 油断が命とり

松原繁

(社)鳥取市シルバー人材センター

気のゆるみ 思わぬところに 事故ひそむ

岡田邦雄

(社)智頭町シルバー人材センター

終わったと 気の緩みが 事故の元

耕田勝司

(社)倉吉市シルバー人材センター

事故を呼ぶ あなたの慢心 気のゆるみ

西村淳子

(社)北栄町シルバー人材センター

これぐらい そのひと声が 命とり

山田昭彦

(社)大山町シルバー人材センター



「佳作作品」

日ごろから 危険予知する 心がけ

角田保

(社)米子広域シルバー人材センター

急ぐとも 無理せず 焦らず 安全に

今田勝利

(社)南部広域シルバー人材センター

古希は古希 喜寿は喜寿だよ 無理すんな

笹谷育司

(社)南部広域シルバー人材センター



就業は 「共働・共助」で ご安全

鈴木章夫

(社)倉吉市シルバー人材センター

安全に 初心者 ベテラン 区別なし

石井勝彦

(社)境港市シルバー人材センター

平成十八年度下期 事業実施状況

臨時理事会開催

平成十九年二月十五日（木）倉吉市において連合臨時理事会が開催されました。



審議の議案は次のとおりで、いずれも原案のとおり承認されました。
特に第二号議案のシルバー労働者派遣事業検討結果の採択について、いろいろな角度から議論され、承認されました。

第一号議案 平成十八年度収支補正予算書
(案) について

第二号議案 職員給与規程の一部改訂(案)について

第三号議案 シルバー労働者派遣事業検討結果報告書の採択について

報告事項

・平成十九年度シニアワークプログラム

事業の実施について

・平成十八年度第二回都道府県連合事務局長会議について

その他

第一回通常理事会

平成十九年三月十六日（金）鳥取市において平成十八年度第二回通常理事会が開催されました。

審議された次の議案はいずれも原案のとおり承認されました。

議案

第一号議案 平成十八年度収支補正予算書

(案) について

第二号議案 平成十九年度事業計画(案)

について

第三号議案 平成十九年度収支予算書(案)

について

報告事項

・平成十八年度事業計画実施状況の報告について

・平成十八年度都道府県連合会長会議の概要について

第二回通常総会

平成十九年三月二十七日（火）鳥取市において平成十八年度第二回通常総会が開催されました。

総会は宇

野連合会会長の挨拶に続いて、議長に（社）岩

美町人材セ

ンター理事

長 谷口幹

彦氏を選出

し、次の議

案について

審議が行わ

れ、いずれ

も原案のとおり可決承認されました。

議案

第一号議案 平成十八年度収支補正予算書

(案) について

第二号議案 シルバー労働者派遣事業検討

結果報告書の採択について

第三号議案 平成十九年度事業計画(案)

について

第四号議案 平成十九年度収支予算書(案)

について

第五号議案 職員給与規程の一部改訂につ

いて



経験交流大会開催

平成十九年一月十八日(木)午前10時30分から倉吉市において、経験交流大会を開催しました。



大会は、県内シルバー人材センターの役員・会員・市町村の担当者の方々百十名の参加のもと、宇野連合会会長の挨拶のあと、来賓の倉吉市の長谷川市長、鳥取労働局能見職業対

策課長、鳥取県商工労働部小倉次長より祝辞を賜りました。

基調講演には(社)岡山県シルバー人材センター連合会会長槌田邦夫氏をお迎えし、「今後のシルバー事業の運営について」と題して講演をいただくなど盛大に開催することができました。

また、お昼の休憩時間には、境港市シルバー人材センターによるキタロー音頭等の踊りが披露されました。



午後には、県内、三センターから次の事例発表をいただきました。

- ・「第二次中期事業基本計画の策定にむけて」

(社)鳥取市シルバー人材センター

事務局長 田中 明 博 氏

- ・「我がセンターの就業開拓について」

(社)南部広域シルバー人材センター

理事長 田子 貢 氏

- ・「センターの現状と今後の課題」

(社)岩美町シルバー人材センター

理事長 谷口 幹 彦 氏

引き続き、事例発表者を助言者に迎えて質疑応答・意見交換が行われ、盛会のうちに閉会しました。



鳥取県シルバー人材センター事業推進連絡会議

平成十九年一月二十五日（木）鳥取労働局において、鳥取労働局、鳥取県、シルバー人材センターの三機関による会議が開催され、シルバー人材センター事業の自立的・効率的な事業の推進に向けた方策等について協議・検討が行われました。

- (一) シルバー人材センターの現状と課題について
 - (二) 自立的・効率的な事業の推進に向けた方策について
 - 会員の獲得に向けた取組みについて
 - 就業分野の拡大について
 - 特定公益法人制度の活用について
 - 事業評価指導制度の導入・活用について
- シルバー派遣事業について



第四回シルバー労働者派遣事業検討会議開催

平成十九年一月三十日（火）倉吉市において開催しました。

第一回（平成十八年七月二十五日）開催から第四回まで検討結果、労働者派遣事業を実施することが望ましいという結論に達し、当面は需要が見込まれる東部・中部・西部地区の中心センターで平成十九年十月より実施するように、シルバー連合会理事会へ提案・要望することとなりました。



第三回鳥取県シルバー人材センター事務局長会議開催

平成十九年二月六日（火）米子市において開催。

- 議題
- (一) 平成十八年度第三回都道府県連合事務局長会議の報告
 - (二) 平成十八年度事業計画の実施状況
 - (三) 鳥取県シルバー連合労働者派遣事業検討結果報告
 - (四) 平成十九年度SP事業の実施について
 - (五) 鳥取労働局高齢者対策担当官説明
 - (六) その他



会計業務等担当者 研修会開催

平成十九年二月二十二日（金）倉吉市において、（社）大竹市シルバー人材センター事務局長 松本光弘氏を講師に迎え「予算の作成と補助金の申請について」の講演を受け、質疑等があり、実務についての指導を受けました。



第二回就業機会開発 推進委員会開催

平成十九年三月二日（金）倉吉市において開催。
議題

- (一) 平成十八年度就業機会開発推進事業実施状況について
- (二) 平成十八年度シルバー人材センターの取り組み状況について
- (三) 平成十九年度就業機会開発推進事業実施計画について
- (四) その他

第二回安全・適正就業 推進委員会開催

平成十九年三月八日（木）倉吉市において開催。
議題

- (一) 平成十八年度安全・適正就業パトロール指導員中央研修について
- (二) 平成十八年度傷害・賠償事故発生状況及び連合パトロール指導員による巡回指導状況について
- (三) 平成十八年度連合・各センター安全就業推進事業実施状況について
- (四) 平成十九年度連合安全・適正就業推進事業実施計画について
- (五) 意見交換

(六) その他



平成19年度シニアワークプログラム地域事業 実施計画及び実施状況

シニアワークプログラム地域事業は、(社)鳥取県シルバー人材センター連合会が活動拠点の協力のもと、多種多様な技能講習を事業主団体と連携をはかりながら実施する事業です。

講習の種類は、長期講習(40時間を超える講習)と短期講習(20時間を超え40時間迄)の2種類となります。

平成19年度は、長期講習15回(介護講習4回含む)、短期講習36回を計画し、順次実施しております。

1. 長期講習

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	受講者	修了者
経理事務補助1	米子会場	5月30日～6月15日	13日	20名	19名	18名
経理事務補助1	鳥取会場	6月4日～6月20日	13日	20名	21名	21名
経理事務補助	倉吉会場	6月6日～6月22日	13日	20名	16名	16名
造園アシスタント1	鳥取会場	6月25日～7月5日	9日	20名	22名	22名
経理事務補助	境港会場	7月23日～8月8日	13日	20名	19名	19名
左官・ブロック積補助	鳥取会場	9月6日～9月20日	9日	20名		
造園アシスタント	米子会場	9月10日～9月21日	9日	20名		
オフィスクリーニング補助	米子会場	10月16日～10月26日	9日	20名		
造園アシスタント2	鳥取会場	11月19日～11月30日	9日	20名		
経理事務補助2	鳥取会場	12月5日～12月21日	13日	20名		
経理事務補助2	米子会場	1月23日～2月8日	13日	20名		
介護講習(2級課程)						
訪問介護員養成研修	米子会場	6月25日～8月3日	23日	20名	17名	14名
訪問介護員養成研修	倉吉会場	8月20日～10月1日	23日	20名		
訪問介護員養成研修	鳥取会場	10月4日～11月14日	23日	20名		
訪問介護員養成研修	境港会場	10月18日～11月28日	23日	20名		

2. 短期講習

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	受講者	修了者
農業支援講習	智頭会場	4月 9日～ 4月13日	5日	15名	16名	15名
室内装飾アシスタント	智頭会場	6月18日～ 6月22日	5日	15名	18名	15名
造園アシスタント	米子会場	6月18日～ 6月25日	6日	20名	18名	18名
緑地管理アシスタント	境港会場	6月26日～ 7月 3日	6日	20名	19名	19名
緑地管理アシスタント	岩美会場	7月 4日～ 7月11日	6日	20名	20名	18名
塗装アシスタント	倉吉会場	7月 4日～ 7月12日	7日	20名	15名	14名
保育支援	境港会場	7月24日～ 7月31日	6日	20名	18名	18名
室内装飾アシスタント	北栄会場	7月24日～ 7月31日	6日	20名	15名	11名
造園アシスタント	智頭会場	7月30日～ 8月 3日	5日	20名	23名	22名
緑地管理アシスタント	倉吉会場	8月20日～ 8月27日	6日	20名		
販売員養成研修	米子会場	9月予定	7日	20名		
保育支援	鳥取会場	8月24日～ 8月30日	5日	20名		
造園アシスタント	倉吉会場	9月 3日～ 9月10日	6日	20名		
保育支援	米子会場	9月18日～9月26日	6日	20名		
警備業務補助	鳥取会場	9月25日～10月 3日	7日	20名		
事務補助	南部会場	9月予定	5日	20名		
造園アシスタント	境港会場	9月予定	6日	20名		
介護支援	倉吉会場	10月22日～10月29日	6日	20名		
造園アシスタント	南部会場	10月予定	6日	20名		
事務補助	智頭会場	10月予定	5日	20名		
造園アシスタント	江府会場	10月予定	6日	15名		
警備業務補助	米子会場	11月 5日～11月13日	7日	20名		
緑地管理アシスタント	米子会場	11月 7日～11月14日	6日	20名		
果樹栽培アシスタント	南部会場	11月予定	6日	20名		
室内装飾アシスタント	八頭会場	11月予定	6日	20名		
果樹栽培アシスタント	倉吉会場	12月 3日～12月17日	6日	20名		
室内装飾アシスタント	米子会場	1月15日～ 1月22日	6日	20名		
保育支援	倉吉会場	1月21日～ 1月28日	6日	20名		
介護支援	鳥取会場	1月23日～ 1月29日	5日	20名		
室内装飾アシスタント	南部会場	1月予定	6日	20名		
室内装飾アシスタント	鳥取会場	2月13日～ 2月20日	6日	20名		
介護支援	米子会場	2月18日～ 2月22日	5日	20名		
室内装飾アシスタント	倉吉会場	2月18日～ 2月25日	6日	20名		
室内装飾アシスタント	境港会場	2月予定	6日	20名		
農業支援	南部会場	2月予定	6日	20名		
事務補助	岩美会場	2月予定	5日	20名		

健康シリーズ⑱

お酒について考える。



山陰労災病院
第三消化器内科部長

西 向 栄 治

「お酒は不思議な飲み物。お酒の効用」

お酒は、本当に不思議な飲み物です。「酒は天の美祿、百薬の長。原始時代から人間に恵まれた最上の飲み物である。」と言われて

います。とかく世間では、祝い事、人の集まりなどがあると「乾杯」と言っは、いたるところで年中、皆でお酒が酌み交わされます。お酒は、場の緊張を和らげ抑制を取り除き、活気付け、その場を明るくし、人の輪を広げます。また、一日の晩酌は疲れを和らげるのに有用で、食欲を増進させ、睡眠を促します。そして、少量の飲酒は、血管を広げ寿命を延ばすことが知られ、適量の飲酒〇・五〜一合は、脳血管疾患、心筋梗塞の発生を予防することが知られています。

しかしながら、飲酒の効用の過大視は禁物です。度が過ぎる大量の飲酒は、脱水、脳出血や高血圧、不整脈などを引き起こし、沢山の方々の寿命を縮め、そして、人間関係までも壊しかねないという現実が存在します。

「お酒と法律」

まず、たばこもそうですが、子供や妊婦さんは体に悪いから飲んではいけない。でも大人男性は飲んでいいと言って毎晩酔っ払います。

何故体に悪いとわかってるものを沢山飲まれるのでしょうか？ おうちや外で飲む分には、誰が止めても好きなだけ飲めますし逮捕もされません。

しかし最近は何かが厳しくなりましたが、飲んで運転すると法律で警察のご厄介になって逮捕され、厳罰、免職等がくだされます。

「お酒の吸収・代謝と毒性」

お酒、アルコールは、その殆どが、急速に胃と小腸で吸収され、血中に入り、脳に直接しみ込んで行き麻痺させ、いわゆる酔いの状態を生じます。いつも不思議に思うことです。水やお茶は、生ビールほど沢山飲めません。初期の段階では、抑制が取れ、気が大きくなりますが、血中濃度が上昇するに従って、注意力が散漫になり、動けなくなって、意識

障害を来し、急性アルコール中毒となり、死に至る場合もあります。また、アルコールは肝臓で分解され、全て一度アセトアルデヒドに変えられます。これが二日酔いの原因物質で、理科の実験室で標本が腐らないで浸かっているホルマリンの親戚の様な毒物です。そのような毒物が体内で発生するので、飲み過ぎた翌日に頭痛、吐き気、倦怠感を経験され、しんどい思いを経験された方も多いと思います。これがアルコールの毒物の兆候です。非常に重要な兆候ですが、一般的に笑って済まされ、気づいておられないのが残念に思います。栄養である牛乳を飲んだ翌日にこのような症状が起こることはありません。

「お酒の代謝の違い」

一般にあの人はお酒が強い。私はお酒の臭いを嗅ぐだけで酔っ払ってしまうなどと言われるのをよく耳にします。これはいったい何故でしょうか？ お酒に強い人、弱い人の違いは、このアセトアルデヒドを分解する酵素（アルデヒド脱水酵素）の活性の違いにより生じます。

この酵素は、白人、黒人は全て活性型であ

りお酒を早く分解し二日酔いが起こりにくい
のに対し、日本人（モンゴロイド）は、活性
型は五〇％であり、不活型（活性型の十六分
の一の強さ）が四十五％、失活型（活性なし）
が五％であります。これは日本人の約半数の
人はアルデヒドが分解されにくく毒性が高く
残ってしまうことを示しています。

また、失活型の人は、お酒を飲むとアセト
アルデヒドが分解されないので意識を失い、
下戸と呼ばれる人が百人に五人存在します。
即ち、日本人の約半数はアルコールに弱く、
白人、黒人とは遺伝的に異なります。また、
女性は男性の半分の飲酒量で肝硬変になると
も言われています。

「お酒の障害臓器と依存症」

慢性的に脳がアルコールに依存してゆきま
すと体中の諸臓器、脳神経、肝臓、脾臓など
少しずつ傷害し様々な病気を引き起こして寿
命を縮めます。食事を摂らずお酒だけ飲ま
れるアルコール依存症の方の平均寿命は五十
歳といわれます。ほとんどの方は寿命のこと
など考えずに飲酒され、死ぬ手前で救急車で
病院に運ばれて来られます。このよつな方は、
お酒を味わうのではなく、とにかく嫌なこと
を忘れるために、空きっ腹にお酒を入れて、
酔うために、いや、酔うまで飲んでしまう傾
向が強いようです。

肝臓でアルコール分解酵素が誘導されるた

め、一杯で酔っていたのが酔わなくなり、次
第二杯、三杯と飲まなければ、酔いが回り
ません。食べ物が入らなければその分血中ア
ルコールの濃度が濃くなり、毒性も増して、
肝硬変、肺炎、糖尿病、食道癌、大腸癌、肝
臓癌、脳症、禁断症状、末梢神経障害などを
引き起こします。そして、悪循環が続き、身
体的な問題だけでなく、仕事、家族、対人関
係などの社会的な問題を生じているにも関わ
らず飲酒が止められないアルコール依存症と
いう、普通の酒飲みとは違った病態に陥りま
す。食事が摂れない、腹水が貯まる、黄疸が
でた、お腹が痛いという症状で内科に来院さ
れますが、根本は、不安、孤独、焦燥などの
ためアルコールという薬物に助けて貰い依存
している脳に原因がありますので、心療科で
の専門的な治療が必要になります。

「ストレス解消法の工夫の必要性」

しかしながら、現実にはご本人が、自分が
依存症であることを認め自覚され、治療・断
酒しなければならぬと希望しない限り入院
治療出来ないため、ご家族がいくら治療を希
望しても困難な場合が多く存在し、格差社会
の最近、大きな社会的な問題になってきてい
る印象を受けます。

格差社会と言われる現代。アルコール以外
の方法でストレスを緩和する必要があると感

じます。
特に男性は一人黙ってお酒を飲まれる傾向が
強い様に思われます。女性のようにお喋りを
して体を壊さずに精神的に元気が出る何か別
な方法を探る必要があるのではないでしょ
うか。

「飲酒の際に心がけること」

また、熱中できる趣味を持つとか、体を動
かす運動などの習慣を持つなどもお薦めです
が、やはり、会話が内面的な人が依存症
になる傾向が強いよう感じます。

お酒を飲む際に心がけることは、濃い酒、
特に焼酎などは、食道癌が出来やすいので、
なるべく薄めて飲むこと。少量から適量（一
〜二合まで）をゆっくりと時間を掛けて、酔
うために飲まないで味わうように飲むこと。
栄養（タンパク質、脂肪、炭水化物、ビタミ
ン）のある食事を摂りながら飲むとアルコー
ルの分解を早め毒性が少なくなります。
人それぞれですが楽しく飲んで長生きする
ことが大切です。

最後に、「二杯は人、酒を飲む。一杯は酒、
酒を飲む。三杯は酒、人を飲む。」という諺
がありますが、決してお酒に飲まれないよう
飲み過ぎには、ご注意くださいませ。

趣味のひとつとき

「ケーナ」の音色に魅せられて



渡邊 和之

（畑倉吉市シルバー人材センター）

「ケーナ」という楽器は、南米・アンデス地方に紀元前から伝承されてきた縦笛の一種で、「コンドルは飛んでいく」という曲と、俳優・田中 健さんが吹いていた笛といえばお分かりと思います。

このケーナを作り始めたのは、もう十年も前になりますが、当時、TV放映があり、田中 健さんが大自然のステージのなかで奏する明澄・快活で、また、時には深い憂いを含んだ音色にみせられていました。

吹いてみたいと思いついたのも、中学・高校でクラリネットを吹いた経験があり、結構気楽に取り掛かったと思います。

早速、一本の輸入のケーナ、「田中 健ケ



ーナ教本」とCDを買い求め、練習を始めたところ、高い値段の割には音程が狂って曲に成らないのです。笛の材料は竹ですので、穴をヤスリで広げて多少は音程を調整できても、穴をふさぐことが出来ません。これはもう自分で作るしかないと決心し、ケーナを作り始めました。

まず、材料の篠竹（女竹）探しが一苦労でした。細い竹は沢山あるのですが、笛に適した太さや長さ、肉質のそろった竹となるとなかなかありません。

指導を受ける方法も解らず、教本に書いてある寸法図だけが頼りで、乾燥、油抜き、採寸、裁断、歌口作り、穴あけ、音程調整、塗装など全てが手探りでした。油抜きだけでも、炭火で炙ったり、湯がいてみたり、コンロで焼いたり、バーナーで焼いて



みたり、レンジに入れたりして、何十本もだめにしましたが、ようやく納得のいくケーナがつかれるようになりました。

いまでは、長い低音用ケーナから短い高音用まで四十本くらい完成品があります。

今は健康農園をかりての畑仕事や、釣りに行ったりして、忙しく過ごしていますが、渓流釣りの折には、「ケーナ」もバックに忍ばせ、深山の溪流のせせらぎをバックに音色を楽しんでいます。

左のケーナが購入したものの、右4本が自作のケーナです。ケーナの後ろは「サンポーニア」という同じく女竹で作った楽器です。後方のフウラン植木鉢は、倉吉シルバー人材センターで焼いた竹炭を鉢として使ったものです。

記念事業

創立十周年を迎えて



(社)岩美町シルバー
理事 人材センター

中島 淳

岩美町シルバー人材センター創立十周年の記念式典が、去る七月一日中央公民館で盛大に挙行されました。

厳粛な中で五十四名が表彰を受けました。またアトラクションもあって、和やかで意義のある式典でした。

設立当時から関わった一人として、当時の経緯を振り返り感慨無量のものがありました。設立に当たっては、当時の故 澤町長、故吉田町長に早期設立を懇願したところですが、県下四市においては、既に十周年を迎えていて、活動している現状を再三訴えて要望したことを、今でも覚えています。

漸く平成九年四月、故 大川啓一氏が準備に入り七月一日に町内諸団体の協力を得て、会員六十九名で創立総会が開かれました。

会員の特技を生かすべく、仕事の開拓や注文取りに町内を回ったこと、障子張替えでは、やり直しが再三あったことなど、昨日の事のように思い出されます。



他町村の法人化が進んでいる中、わが「岩美町も法人化」を目標に、会員、役員が丸となり、事務局の精力的な働きの結果、平成十四年十一月、念願の社団法人に認可されました。誠に喜ばしい事です。

現在の会員数二百余名は協力して更なる発展に向かって頑張らねば……と思うこの頃です。



楽しい互助会の行事や、各種研修会での学習や技術の習得、多くの人々との交流は心身の健康の源です。
相応の収入と親睦が生きがいとなるようなシルバー人材センターとして益々の発展を祈念して止みません。

シルバー人材センターの紹介

(社)南部広域シルバー人材センター

理事長 田子 貢

南部広域シルバー人材センターの区域は南部町と伯耆町の二町です。

平成四年十月に西伯と会見が合併し(社)南部広域シルバー人材センターとして発足し、その後岸本・溝口と合併し現在の姿になりました。

大山国立公園の西側にひらける麓から島根県に隣接する位置にあります。

両町あわせた人口は二万四千四百七十二人で、六十歳以上の人口が、八千五百八人です。旧四町にそれぞれ支所があり、西伯本所は職員四名、会見支所は一名、岸本支所は二名、溝口支所は二名の配置です。

会員数現在五百四十名で、粗入会率は六・三%です。平成十八年度実績は受注件数四千六百五十三件、就業



延人員四万七千四百五人契約金額は二億二千三百十五万四千円となっています。南部広域の地域は中山間の農村地帯なので会員のほとんどが農業者です。又仕事も農業に類似する仕事が多く草刈り、草取り等は喜ばれ地域の担い手として活躍しています。

主な就労先はとっとり花回廊、原工業団地等があり年間の就業率は九十・一%です。

会員の厚生は、シルバー事業を運営するうえにおいて会員同士の親睦が平素の就労に欠かせません、正月は「ゆったり旅行」出雲大社と「日本三大美人の湯」の湯の川温泉へ百六十名バス四台で日帰り旅行、十月にはランドゴルフ大会、十一月には南西伯ライオンズクラブのご好意による「ふれあいの集い」、毎年違う科の医師に話しを聞き、昼食を食べ、踊り、カラオケが出るなど八十名の盛会で、今年で十回目になります。

会員の心構えとして「会員の就労心得」を守ること、もちろん、発注者に喜んでいただける仕事をするのと安全就業等をモットーに心がけています。



会員の広場

シルバー人材センターと 生きがい



日野町シルバー
人材センター
川上 正治

シルバー人材センターの会員となって八年の月日が経過しました。幸いにも体力に恵まれ、大病などなく仕事の出来る喜びにひたっております。

会員の人達と出会える喜びと、共に語り励ましあいながらの作業は会員でなければ味わうことのできない時間だと思えます。

我が日野町は過疎化が進み、年々若き労働者が失われ、それに伴い老人にできる仕事も少なくなるばかり。活気も薄れがちで、どこにはけ口を持っていけばよいのか見当らないのが現実です。

こうした中、地域の結びつき、そして少しでも社会の一員として、我々会員の結びつきは大切であり捨てがたい貴重な存在ではないでしょうか。シルバー会員の並々ならぬ努力により、地元へ活力を取り戻すことが出来ればと思っています。

これから先、シルバーを頼みの綱として、

作業等を依頼される家々が増加することを期待し、会員みんなが手を取り合い、社会の役にたてるよう努力していかなばと思う今日の頃です。

会員となり働く喜びを感じたうえ、人々との大切な結びつきは何事にも増して、自分自身を人間的に成長させてくれたと思えます。世のため人のために働くと言う、当たり前の役目を果たす幸せで一杯です。安全作業に徹し、会員との親睦を探して日々精進したく思っています。

健康と生き甲斐



三朝町シルバー
人材センター
高野 貴美代

三朝町にシルバー人材センターが発足したのは、平成十五年四月、今年で四年と数ヶ月に成ります。

発足当時の会員数は、十五名位だったように記憶しています。(現在五十四名)

始めはまだ住民の方からの仕事の依頼はなく、町からの補助金と応援を受け乍ら、教育施設の清掃や、トレー回収、除草等を行っていました。その後、会員の働く場の拡大の為に剪定、塗装、介護、襖・障子の張替、等種々の講習会が開催され、其の講習会に参加され

た会員の皆さんのやる気と、熱意が地域の方々からも支援を頂ける様に成り、仕事の依頼も増えていった様に思います。

四年余りを経過した今、女性会員の入会が増えればと、シルバー人材センターに興味のある方に声を掛け入会を勧めていますが、思う様に希望者が集まらない現状です。

会員の就業が固定化していく中、改めて会員一人一人が無理のない取り組を自覚して戴いて、安全就業を心掛け、地域の中で少しでもお役に立てればと願っている毎日です。

依頼された仕事に責任を持ち、一つ一つ無事にこなし、仲間と語らい、健康で充実した毎日を送らせて頂いている事が、生きがいそのものであると実感しています。

これからも、シルバー人材センターの会員である事への自覚を持ち、仕事を発注して下さる地域の皆様の信頼に応えられるよう、日々努力していきたいと思えます。

これからもシルバー人材 センターと共に



（旧南部広域）シルバー
人材センター
岸本支所
大森 豊

私はシルバー人材センターに入会し、花回廊班員となり、早くも五年目を迎えた。

入会当初は全く知らない人達ばかりで多少不安もあったが、諸先輩の良き指導のもと、スムーズに溶け込み、多くの知人、友人が出来る新たな人間関係を作り、将来の思い出となりつつある。

花回廊班は現在四十名の人員を四班編成の日々二班体制で、主に園内の除草、花の抜き取り、植え付け作業を行っている。

全員が種々の仕事に精通し、知識、経験豊富な人達ばかりである。又、シルバー人材センター主催の種々講習会に多くの参加があり、更に自身の向上を図っていると聞いている。

そして実作業でも仕事の効率化や、問題解消、改善等進んで取り組んでおり、その中で私自身も何とか一員として頑張っている所である。

私自身の生活スタイルとして、花回廊就業を中心として、就業の無い日は野菜作りや、趣味として軽度のスポーツを楽しむ毎日のリサイクルである。

特にこれまでで感じた事は、以前に比べて「健康な身体」になった事である。

六十歳頃までは室内業務が主であったためか、毎年一〜二回は風邪等に苦しんでいたが、人材センター花回廊班となって屋外作業が主となり、夏場は厳しい時もあるが、陽に当たり、汗をかきながらの作業が健康な身体作りとなり、病気等で休養する事も無くなり、以前にも増して心身共に健康となった。

どんな仕事も肉体的、精神的に厳しい年齢

となっていくが、まずは健康に留意し、無理をしないで楽しく日々の行動を計画的に遂行し、これからの人生として悔いの残らない日常生活を送る事が、自身の充実、向上になり、そしてシルバー人材センターの発展にもつながって行くと考える。



講習会に参加して

「あくなき挑戦」

(塗装講習 倉吉会場)



倉吉市

石橋 恒晴

七月四日より開講の塗装アシスタント講習に参加してプロとして生きて行くための術の厳しさを今更乍らに痛感し、たかがペンキ塗りされどペンキ塗りでした。板一枚に塗料をかける事、ブロックに化粧をする事、その道はその道だと感じました。

私は、車の塗装は多少経験も有り少しは雑学も心得ていましたが、車のパテ付けは歪みを取るため、塗装はエアガンで仕上げ、刷毛は使ったことが無かったので、根本的な違いがありました。

ご指導頂きました諸先生方も最初は素人だったでしょうが一人前になるには十年掛かるとお聞きして、私の人生に十年の余裕の無いことを胸中に勉強をさせて頂き有難うございました。

私は《脳の働く限り》《四肢の働く限り》人生勉強だと言いついておられます。一生一職では海よりも深く自分の人生では会得出来ないような七職八貧乏の説法を乗っ取って

何でも出来る人生を歩みたいのです。

今までに自動車にかかわることは、整備、板金、溶接、セールス、五月迄は一年三ヶ月かけてオリジナル電気自動車や県内には一台しかない車の製作等何でもやってきました。もうすぐ赤瓦周辺を走ると思います。魚屋も二十年、その間に福祉方面では日本音楽協会ミュージックケア、訪問介護2級ヘルパー資格を二年前、又、倉吉市観光ボランティアガイドは一期生でした。人前で話す事の大切さを知って関西司会者協会で司会の勉強も五年程指導を仰ぎました。



三年前より週一回ギターの先生についての音楽の勉強、体力保持のため三十年前よりマラソンへの挑戦を続けており、今年はおと三レース出場の予定、七月二四日より室内裝飾アシスタント講習、九月三日より造園アシスタント講習を受講の予定、又、盆栽剪定は通信教育で勉強したが今一度専門指導を受けたいと思っております。

本年の予定はこれ位にして来年は、楽器を弾いたり歌を歌ったりし長年の夢であった音楽療法士の勉強をし、音楽を通じて、心の癒しを福祉施設及び我々と同年代の方々と機能維持のためのミュージックケアで、いこい演奏をしたり共に歌ったりを旗印にあくなき挑戦をするため日夜努力を致したいと思えます。シルバー会員新生！よろしくお願い致します。

訪問介護員養成研修 (2級課程)に参加して

未体験ゾーン突入！

(米子会場)



米子市

朝月章雄

私はかねてから、定年を迎えたその後は、これまで育てて戴いた全ての天、地、人の恩

に少しでも恩返ししたい...そんな気持ちを持っていました。

ハローワークで、シルバー人材センター連合会主催の訪問介護講習があるのを知り、締切も迫っていた関係で、とりあえず応募しました。しかし、応募したものの合格通知ももらってからも、どうしようかと迷ってしまい、飛び込む勇氣を持てずにいました。と云うのも、テレビ等で介護番組を見るにつけ、自分にはとても出来そうにないな...と云う不安が頭をもたげてきていたからです。

ともあれ、葛藤のなかで六月二十五日から講習が始まりました。最初の十一日間は座学、十二日目からは座学と基本介護技術の体得、そして、七月二十日からは各人に分かれて四日間の実習というカリキュラムで、介護実習、訪問介護、在宅サービス(通所介護)をそれぞれ、8時間×2日、8時間×1日、6時間×1日というものでした。座学ではホームヘルパーの心得やその他諸々の基礎知識を、演習では、グループ及び、二人ずつ組んで車椅子やベッド等の用具を使用しての食事、入浴、排泄、歩行等に関する基本介護の習得が主な内容で、素人相手にも拘わらず一生懸命教えてくださいました先生方のおかげで、自分なりに技術を身につけることが出来ました。

特に実習は生きた現場、利用者の実生活にも入り込むとても気を使う体験の中で、何かしら右往左往していたような気がします。守秘義務があるので詳しい内容は省きますが、



鳥取市

梶川 利津子

(鳥取会場)

経理事務補助講習会 に参加して

しかし、利用者の自立支援を前提としての介護、利用者第一の細やかな気遣いの必要性、そして何より利用者と同じ目線にたつて接することを習得させて戴いたので、今後は、私生活を通して何処かで何かの時に役立てて行きたいです。

今回の講習でお世話下さった講師の先生方やスタッフの方々、芸達者なAさん、Bさん等個性溢れる先輩達のおかげで、曲がりなりにも

楽しみながら受講出来たことを心から感謝しております。有難うございました。

ハローワークの窓口で相談して紹介していたのが、シルバー人材センター主催のこの講習会。電話で問い合わせただき詳細を尋ねると、講習の日程は、再就職に向けて「ワード」「エクセル」の基本操作にEメールさらに会計ソフトの操作・演習を一三日間で学ぶという非常に充実した内容でした。

早速、講習を受けてみたいと思ひ応募し、

幸運にも参加できることになったのです。

初日は、席に着いた参加者はみな落ち着きがあり、背筋もピンと伸び、真剣そのもの。私は、こういう雰囲気は久しぶりなため、緊張が走りまわりました。開講式が終わると、講師の先生のリズムミカルな声で、「さあ！では始めましょう！」「おねがいします」。

まず、「ワード」からスタートです。文字入力の基本から始まり、文書の編集まで。最終的にはタイトルも華やかに表あり、イラストありのすてきな文章が作れるようになりました。さらに、地図作成も教わった。(これは使える！)みんな大収穫の面持ち。

そして、「エクセル」ではデータの入力から編集まで。表の作成、グラフ作成、関数の入力、自動集計など。連続したデータを簡単に入力する「オートフィル」機能、また、合計や平均が「オートSUM」ボタンを使えば、簡単に求められる。

「それでは一緒にやってみましょう」先生の言われるとおりにしたつもりが、うまくいかない。後方の二人の先生が速やかに優しくサポートしてくださる。やり終えた後ろの席の人から「なんとなー！」(便利な機能があるもんだ)と感激の声。

(全く同感)

簿記では仕訳の要領をつかみ理解することから教わり、実際会計ソフトを開き、入力操作を学びました。

あっという間に最終日を迎えましたが、皆



一生懸命でした。短い日数の中で、普段家で一人では学べないことをゆつくり教えてもらえ、たくさんのお話を習得することができました。今後の仕事に必ず活かされると実感しています。

この講習を企画された(社)鳥取県シルバー人材センター連合会の皆様、受講期間中講師・スタッフの皆様には厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

表紙のことば

鳥取市の夏の祭典「鳥取しゃんしゃん祭」が今年度は八月十日～八月十二日に開催されました。

しゃんしゃん祭に使う「しゃんしゃん傘」の製作に鳥取市シルバー人材センターの六人の会員が携わっています。

白い紙を張った和傘（直径八十cm・長さ一・二m）に赤と青の塗料を塗り、乾燥させた後、三十本ある傘の骨に一本ずつ金、銀の短冊と鈴をとりつけて、仕上げます。手慣れたベテランでも一日四本～五本がやっとです。

今年は、あたらしく七百本つくり、約一千本を修理しました。



新設されたシルバーワークプラザでしゃんしゃん傘の飾り付け作業に励む会員



事務局からのお知らせ

平成十九年四月一日付異動

【退職】三月三十一日付

事務局次長

遠藤 堅一

安全・適正パトロール指導員

椎名 貢

ホワイトカラー就業機会開発員

佐々木 富久美

事業所等訪問担当相談員（東部地区）

岡田 恭輔

事業所等訪問担当相談員（中部地区）

中野 善隆

事業所等訪問担当相談員（西部地区）

国本 美代子

【新任】四月一日付

SP担当

樋野 富成

安全・適正パトロール指導員

中野 賢一

ホワイトカラー就業機会開発員

野口 功

【配置替】四月一日付

事務局次長

八田 和

SP担当業務課長

石崎 純一

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会正会員

(平成19年8月1日現在)

名 称	〒	所 在 地	電 話	FAX	代表者
(社)鳥取市シルバー人材センター	680-0845	鳥取市富安2-104-1	0857-22-0050	0857-22-0051	木島敏行
(社)米子広域シルバー人材センター	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823	宇野治巳
(社)倉吉市シルバー人材センター	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101	野島 完
(社)境港市シルバー人材センター	684-0034	境港市昭和町11-17	0859-47-4540	0859-47-4541	足立郁馬
(社)南部広域シルバー人材センター	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330	田子 貢
(社)智頭町シルバー人材センター	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366	石谷文一
(社)岩美町シルバー人材センター	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2512	谷口幹彦
(社)湯梨浜町シルバー人材センター	682-0712	東伯郡湯梨浜町上浅津123-2	0858-35-4130	0858-35-4130	足立春人
(社)琴浦町シルバー人材センター	689-2352	東伯郡琴浦町浦安152-3	0858-52-1001	0858-52-1004	足立慎夫
(社)北栄町シルバー人材センター	689-2103	東伯郡北条町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227	岸田忠良
(社)大山町シルバー人材センター	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0859-53-1310	林原彦一
八頭町シルバー人材センター	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-0021	0858-72-2793	村田敏雄
江府町シルバー人材センター	689-4413	日野郡江府町洲河崎62	0859-75-3211	0859-75-3211	宇田川 潔
日野町シルバー人材センター	689-5131	日野郡日野町黒坂1247-1	0859-74-0870	0859-74-0338	瀬田寿幸
日南町シルバー人材センター	689-5211	日野郡日南町生山357	0859-82-0223	0859-82-0223	大下 勇
三朝町シルバー人材センター	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883	0858-43-1883	西村武津美

お 願 い

・投稿募集

。会員の声(趣味・技術等に関する事)

。俳句・短歌・川柳

投稿ご希望の方は鳥取県シルバー人材センター連合会まで連絡をお願いいたします。

米子市角盤町一丁目七六

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会

郵便番号 六八三〇八一

電話番号 (〇八五九) 三七二五三一

FAX番号 (〇八五九) 三七二五三七

あ と が き

今回も、関係各位の御協力のお陰で第十七号が発行できました。ご寄稿いただいた皆様
に心から御礼申し上げます。今回は趣味のひとときとして、竹笛「ケーナ」を作り、奏でて、楽しんでおられる倉吉シルバー人材センターの渡邊さんにお願いました。

何かに熱中されている方をご存じの方があ
りましたら、紹介をお願いいたします。

会報 鳥 取 第17号
平成19年8月20日 発行

発 行：社団法人 鳥取県シルバー
人材センター連合会

所在地：〒683-0812
鳥取県米子市角盤町1丁目76番地

電 話：0859-37-2531

F A X：0859-37-2537

印 刷：(有)ニシキ印刷
鳥取県米子市灘町3-150

電 話：0859-32-2250